



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2022年3月30日発行

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 熊谷祐司/副会長 鶴田秀樹/幹事 森崎正治/SAA 澤井一徳

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

2021-22年度
国際ロータリーテーマ

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

4月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
例会 例会 例会 沼田川クリーン 休会

本日のプログラム (3月30日)

花見例会 (例会場で食事後 13時から三景園へ)

次回のプログラム (4月6日)

小島勸次会員
「小島くんのひとり言 (コロナ禍でのいろいろ)」

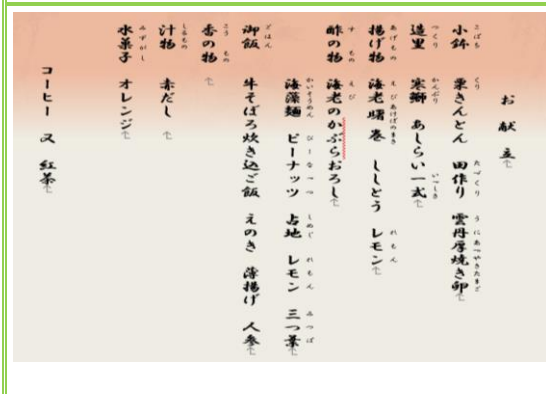
第1223回 2022年3月9日 例会記録 (フォレストヒルズガーデン)

点 鐘 熊谷会長
国歌斉唱 ロータリーソング「四つのテスト」

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (3/9)	27 2	14 0	1	9 3	55.56
メイク	鶴田秀樹				

食事時間



会長時間



皆様こんにちは、久しぶりのリアル例会です。今日は、薪ストーブについてお話したいと思います。

先日、保育所からの同級生が仕事で事務所に来て、「薪ストーブを置いたんか？煙が出よう。ええのう。」と言いました。私は、「孫が一人もいないからね。学資保険を掛ける必要がないし、将来は家を貸すか売るかしかないの、その時のセールスポイントになれば・・・」と思ってね。」また、「娘が東京に一人にいるので、冬に帰って来るとき少しでも癒されたら、和んでくれたら、と思ったのよ。」と言いました。孫が7人いる友人は「そうかー」と言ってしみりしていました。

コロナ禍に対しても思うのですが、人間は「辛い思い」、「悩み」とか精神活動能力を獲得したが故に、心に危機を迎えることがあります。私は、人間には「耐える」、「慣れる」、そして「忘れる」というビルトインされた防御機能があると信じていますので、危機をやり過ごして、心身の安全を確保したいと思います。皆さんも頑張りましょう。

幹事報告

久しぶりの例会ですが、まだコロナの方もおさまっていませんので、皆さんお身体の方はしっかりとお気を付けてください。

《配布物》週報1222号・

ロータリーの友・ガバナ一月信3月号

《回覧》今後の例会出欠予定表

卓話時間

米山記念奨学生 グエン ティ タオ ヴィさん テーマ「日本での留学生活について」

皆さん、こんにちは。米山奨学生ヴィです。お久しぶりです。お元気ですか。コロナの影響で例会が全て中止になって、なかなか皆さんにお会いできず、本当に寂しかったです。今日、皆さんがお元気で例会に参加してらっしゃって、とてもうれしいです。1年間の米山奨学生はあっという間に終了しました。広島空港ロータリークラブにお世話になり心より感謝申し上げます。

今まで、自分の故郷の卓話や最近の状況について話させていただきましたが、緊張しすぎて、スムーズに伝えることができなかったです。今日は、奨学生として最後の卓話になります。今までの日本での留学生活についてゆっくり話させていただきたいと思います。宜しくお願い致します。



中学生から日本語を勉強し始めました。なぜ日本語を選んだのですかとよく聞かれますが、正直に言うと英語より日本語を勉強することが面白くて、勉強すればするほど、日本語がすきになりました。時々日本から来られた先生がいらっしゃって、とても優しく、日本語や日本の文化を色々なことを教えていただきました。



また、日本人の国民意識が非常に高く、どんな時でも(例えば地震の直後という状況でも)パニックを起こすことなく、秩序正しい行動を取り続けた被害者の姿を見て、日本に対する敬意を深めました。もっと様々な日本人に会いたく、美しい日本国に住んでみたいという夢を持っていました。日本語を真面目に学んで、いつか日本に行きたいと強く決意しました。日本の大学に入って、日本で就職する目標を立て、両親を説得してから、日本に留学することにしました。



日本に来て以来、驚いたことがたくさんありました。まず、日本の道端にはゴミが落ちていなくてきれいです。また車のクラクションの音を減多に聞くことがありません。ベトナムでは、バイクや車のクラクションの音が朝から晩までうるさいです。

そして、ベトナムにない電車も始めて見れました。ベトナムでは数分の遅れは当たり前で、運休することもしばしばです。しかし、日本時にとって時間どおりに運行するのは当たり前のことです。もし、数分でも遅刻するようなことがあれば、遅延証明書の発行をしてくれます。本当に素晴らしいと思っています。日本に来て以来私も時間をきちんと守る習慣を身につけることができました。また、ベトナムだとお客がドアを開け閉めするのが通例ですが、日本のタクシードアが自動的に開閉されることも驚きました。



そして、初めて日本のコーヒーを飲んだ時に、味が薄いなあと思いました。日本にブレンドコーヒーを飲む人が多い気がします。ベトナムのコーヒーが濃くて、練乳を2、3倍入れてコーヒーを飲む人が多いです。



特に、日本の物価が非常に高いです。ベトナムの物価が安くて、日本の4分の1、5分の1です。それは、日本の1人当たりの平均所得がベトナムの十数倍になっていることから考えれば、当たり前のことです。何を買う前に、ベトナムの通貨で計算してみると、高すぎて、買いたいですを買わなかったのです。日本の物価が高いので、両親に仕送りしてもらいましたが、負担を減らすためにアルバイトを始めました。朝、日本学校に通って、昼ごはんを食べ終わってから3-4時間大学試験をこなして、午後5時から2-3時間アルバイトをしていました。帰ってからまた勉強します。大変なことがあり、失敗こともたくさんあり、やめることも考えました。しかし、家族、友達、日本人の知り合いが色々な形でも応援してくれて、やっと乗り越えることができました。結果としては、2018年に尾道市立大学に合格できました。

入学してから、経済・経営・情報の幅広い分野で様々な知識を身につけて、先生の講義をすべて理解できたわけではないです。本を読んだり、先輩に聞いたり、ネットで自己学習をしたりしました。だんだん慣れてきました。3年次では、おかげさまで日本学生支援機構(Jasso)から奨学金をいただきました。3年次の後期に大学から米山奨学金に関するお知らせが来ました。その際には、自分が本当にできるかと迷っていて、諦めようとする瞬間がありました。しかし、同じチャンスは2度と来なく、今やってみないと分からないので、勇気を出し応募しました。結果としては、1月末に合格の通知をいただき、泣くほど幸せでした。その結果は、日々の自己努力に加えて幸運の恩恵だと思いました。



2021年4月からオリエンテーションで初めてカウンセラーの澤井様にお会いし、とても優しく、親切な方だと感じました。毎回の例会に参加する際には、逆方向でも澤井様がいつも家の近くまで迎えに来てくださって、本当に有難いと思います。去年、新型コロナウイルスの影響で初めて例会に参加するのは6月からでした。ずっと緊張していましたが、広島空港ロータリークラブの皆様がとても優しく、いつも励ましてくださいました。例会に参加するたびに、皆様から声をかけ自分の状況を聞いて応援していただくことで、寂しいこと・大変なことをすべて忘れて幸せな気持ちばかりでした。



さらに、澤井様の会社にはベトナム人の実習生の方が多くいるため、例会が終わってから、みんなによく会いに来ました。みんなが愛想よく、直ちに仲良くなりました。澤井様のおかげで、新しい友達がたくさんできて、本当に嬉しいです。

去年の3月から、就職活動や卒業論文の作成を本格的に始めました。そのため、アルバイトをして生活費を充てるのが難しい状況でした。米山記念奨学金をいただくことで、学業に専念することができ、日本の企業から内定もいただきました。今年の3月に無事に大学を卒業でき、4月から広島市で正社員として仕事をします。これから、大学・米山奨学会で学んだことを生かして、社会に貢献できるように人材になりたいと思います。また、学友会の一員として、日本とベトナムの懸橋になり、国際交流を深めていきたいと考えています。ロータリアンの皆様、特に広島空港ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。